

池上通信機：宮城テレビ放送に中型中継車を納入、スポーツ・イベント中継で活躍



池上通信機株式会社では本年1月に株式会社宮城テレビ放送（以下、ミヤギテレビ）に野球、ゴルフなどのスポーツ中継や、屋外での様々なイベントでの番組制作に対応した中型中継車を納入した。

今回納入した中型中継車では、池上通信機の豊富な納入実績で培った中継車システム設計のノウハウを投入し、ミヤギテレビの「従来の大型中継車の役割を果たすことができる中型中継車を実現したい」という要望に応じて、効率的な運用をサポートするシステム構成と、省スペース化により具現化することにより“大型中継車と同等の運用性を兼ね備えた中型中継車”を導入するきっかけとなった。

また、システムの中核となるスイッチャ・ルータは3G-SDIに対応しており、将来の4Kフォーマットでの番組制作も考慮した中型中継車となっている。

中継用カメラシステムは、3G 16-bit フルデジタルHDTV カメラシステムHDK-970A 4台、HDK-97A 2台の計6台、ベースステーションはハーフラックサイズのBS-98 6台、BS-79LP 4台を搭載しており、スタジオなどからカメラヘッド4台を持ち込むことで、10台のカメラ構成に簡単に増設が可能です。システムとしては、プラス2台の最大12台までの増設ができる設計となっている。

番組制作の核となるスイッチャはMuPS-4000 seriesを採用。入出力は36入力／18出力を装備し、2M/E 3D DFE 2系統、キーヤ16系統、リサイズ12系統、動画メモリを搭載している。また、メインの操作卓に加え、リモート操作卓を組み合わせ、各M/E列を割り付けることで、ゴルフ中継などで、2つのホールでそれぞれ番組制作を行うことが可能。さらに、ビデオサーバによるスロー再生のほか、カメラの

1080/119.88 i出力を使用した鮮明な2倍スロー再生を実現している。

ミヤギテレビでは、今回導入した中型中継車を、野球・ゴルフなどのスポーツや様々なイベントの中継で運用することを予定している。

一方、車輛を納入した池上通信機では、これまで全国の放送局向けに中継車システムを販売しており、こうした実績をバックボーンとして、今後、放送各局で計画されている中継車システムの更新需要をビジネスチャンスと捉え、積極的な提案活動を継続、展開していくとのことである。

諸 元

- 車 輛：ワイドキャブ 全長：8075mm 全幅：2450mm 全高：3510mm
- 発 々：35KVA
- 空 調：16000kcal
- スイッチャ：MuPS-4000series 36入力18出力 2M/E 3D DFE 2系統
キーヤ16系統 リサイズ12系統 動画メモリ
- ルータ：MuPS-4000 series 99入力90出力／18画面分割マルチビューワ搭載
- カメラ：常設HDK-970A×4台／HDK-97A×2台 最大12台まで対応可
- 音声ルータ：64入出力
- ビデオサーバ：EVS社 XT-3
- VTR：常設3台
- モニター棚：17型 HLM-1705 WR 3台／9型 HLM-905WCS 20台（操作パネルレス）
- VE用モニタ：17型有機EL (OLED)／HEM-1770WR 3台



車室前部より後方を望む



車室後方にはVE卓を設置

* 問い合わせ先：池上通信機株式会社
放送第1営業部

Tel:03-5748-2201/2221

Fax:03-5748-2200